

令和5年度 八代市立植柳小学校 学校だより No.32



いずかし

八代市立植柳小学校
校長 嶋村 立馬

植柳小学校校訓 「うつくしく、やさしく、たくましく、かしこく」

令和6年1月9日

今年もよろしくお願ひします!!

新しい年、そして3学期が始まりました。9日は笑顔で登校する子どもたちの姿を見て、とてもうれしくなりました。子どもたちからも、「冬休みはとても楽しかった。」という声が聞かれ、一人一人にとって大切なたくさんの思い出ができたことと思います。

お正月は昔から伝わる行事を知るよい機会です。門松のような正月かざりには「新しい1年がよい年になりますように」という願いが込められていると聞きます。また、お雑煮はその年の最初に井戸からくんだ水とかまどに最初につけた火で、お供えした野菜とお餅を煮て食べることで、新しい年の始まりを祝うものといわれています。



始業式では子どもたちにその雑煮の話をしました。雑煮は、いろいろな地方でいろいろな形のお餅が入っていたり、その地方ならではの具材が入っていたりと、その地方により様々です。そして、私たちが見慣れないお雑煮も、その地方の人にとっては思い入れのある大切なお雑煮であることを伝えました。子どもたちも同じで、一人一人が大切に思っていることも違うし、物事に対する感じ方もそれぞれです。そして一人一人が違った良さを持っています。だからこそ子どもたちには、みんなが互いの良さを認め励まし合える、そんな植柳小学校の仲間になってほしいと思っています。

北陸地方では1日から災害が起き、多くの方々が亡くなられました。亡くなられた方々のご冥福を心よりお祈りしたいと思います。そして、多くの方々が避難生活を強いられ、苦しい思いをされておられます。こんな時だからこそ、子どもたちには、お互いの違いを認め合い、支え合える植柳小学校の仲間を作っていってほしいと思います。

3学期は次の学年へと飛躍するための大切な学期、いろいろなことに挑戦する3学期にしてほしいと願っています。短い学期ですが、保護者の皆様、地域の皆様と連携して、子どもたちを見守っていただけると願っています。保護者の皆様、今年もよろしくお願ひします。

どんどやが行われました

1月7日(日)に球磨川河川敷で、どんどやが行われました。どんどやは、小正月に地域で行われる行事で、その煙を浴び、その火で焼いた餅を食べればその年を無病息災に過ごせるといわれています。前日の準備には、PTAの皆さんや地域の皆さんが、木々を河川敷まで運んでいただきました。当日には、設置されたどんどやの檣に火が点けられると、その火は空に向かって大きく燃え上がりました。子どもたちもみんな楽しそうに参加し、思い思いに餅を焼いたり、どんどやを楽しんでいました。このどんどやという行事が、地域に残る大切な行事として、これからも末永く残ってほしいと思いました。

